

NARITA 市議会だより



▲飯田町の琴平神社、並木町の埴生神社の祭礼で繰り出された山車が、公津の杜駅前に集合し踊りの競演。(7月25日)

6月定例市議会の あらまし

平成16年第3回定例市議会は、6月4日に招集され6月23日までの20日間の会期で開かれました。

定例市議会の初日には、いずみ聖地公園拡張整備事業用地取得など14議案が上程されました。

一般質問は6月7日、8日に8人の議員が登壇して行われ、10日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日の6月23日には教育委員の任命を求める案件1件が追加提案され、上程された議案15件、発議案3件を原案どおり可決し閉会しました。

主 な 内 容

- ☆可決された議案の概要……P 2
- ☆特別委員会から……P 3
- ☆一般質問から……P 4～P 6
- ☆コーヒータイム……P 6

6月定例市議会の日程

期 日	内 容
6月 4日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程審議)
7日(月)	本会議(議案に対する質疑、一般質問)
8日(火)	本会議(一般質問、議案に対する質疑、委員会付託)
10日(木)	経済環境常任委員会
11日(金)	建設水道常任委員会
14日(月)	教育民生常任委員会
15日(火)	新清掃工場建設特別委員会
16日(水)	新駅・まちづくり特別委員会
17日(木)	空港対策特別委員会
18日(金)	総務常任委員会
23日(水)	本会議(会議録署名議員指名、全議案審議、閉会)



18議案を可決・同意・承認 いずみ聖地公園拡張の用地取得など

6月の定例市議会では、人権擁護委員の人事案件が1件、条例の一部改正案件が7件など14議案が審議され、原案どおり可決・同意・承認されました。また、最終日に追加上程された教育委員の任命、議員から提出された発議案3件も同意・可決されました。また、議会に寄せられた3件の請願・陳情のうち請願1件が採択、1件は趣旨採択、陳情は不採択となりました。

●可決された 議案の概要

上程された議案は、各常任委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

総務常任委員会

▼専決処分の承認を求めるについて
(成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて) 専決第1号)

【内容】地方税法の一部が改正されたことに伴い、平成16年度分の課税に支障のないよう、必要な措置を講じるために、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分し、同条第3項の規定により承認を求めるもの。主な内容としては、個人市民税では、これまで市町村の人口規模に応じて異なっていた均等割が全国一律となったことに伴い、現行の年額2,500円を3,000円に引き上げるほか、所得割及び均等割の非課税限度額を算定する上での控除対象配偶者又は扶養親族を有する場合に加算される額の引き下げ、平成18年度分から老年者控除の廃止、平成17年度分から土地及び株式等の譲渡益に係る税率の引き下げ等の改正を行うとともに、固定資産税では、平成17年度から、家屋の借受人が事業の用に供するため取り付けた附帯設備について、

当該借受人の償却資産としてみなすことができるとする改正を行うもの。

【主な質疑】

問 老年者控除が廃止され、均等割が上がるが、市にとっての影響額は。

答 老年者控除の廃止により増収となるが、個人ごとに所得額や控除額、税率区分が異なるため、影響額の算定は困難である。均等割は平成16年度予算ベースで算定すると2,021万2千円の増収見込みとなる。

▼専決処分の承認を求めるについて
(成田市都市計画税条例の一部を改正するについて) 専決第2号)

【内容】地方税法の改正により、同法の条項を引用している本条例の規定に項ずれが生じ、これを改めようとするもの。

教育民生常任委員会

▼三里塚複合施設建設工事請負契約の締結について

【内容】住民福祉の向上とコミュニティ活動の促進に資することを目的に、三里塚消防署の隣接地に複合的な機能を持つコミュニティ施設を整備しようとするもの。

▼成田市立三里塚小学校講堂改築2級併行防音工事(建築工事)請負契約の締結について

【内容】昭和49年に建築された三里塚小学校講堂が建築後30年を経過し、施設全体が老朽化したことから、改築しようとするもの。
【主な質疑】

問 成田国際空港(株)からの防音補助金の額は。

答 おおよそ2,400万円強。

▼成田市立小学校設置条例の一部を改正するについて

【内容】平成小学校区内の児童数の増加に対応するため、公津の杜地区に小学校を新設するにあたり、同校の名称を公津の杜小学校と定め、設置条例に加えるとともに、併せて地番表記の整理を行うもの。

▼成田市児童ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】平成児童ホームに入所する児童数の増加により、保育室が手狭になったことから、適正な管理運営を図るため、既存施設の隣にプレハブによる保育室を増設することに伴い、現行の定員40名を80名に改めようとするもの。

【主な質疑】

問 児童数に対して職員の基準は。
答 児童ホームの指導員の人数は国の

基準等から、35名までが2名、36名から70名までが3名、71名以上が4名、それ以上の基準はない。

問 入所する児童の家庭環境、また入所の許可基準は。

答 放課後家庭に帰っても保護者が就労していない家庭で、一般的に共働きの家庭が対象となる。

▼成田市スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【内容】公津の杜小学校建設に伴い、同地区内の中学校建設予定地の一部を公津スポーツ広場として活用しようとするもの。

【主な質疑】

問 スポーツ広場には、水道、トイレ、ベンチは作るのか。

答 水道、トイレは設置する。暫定的な施設の利用のためベンチは設置しないが、地区管理者と協議したい。

▼成田市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正するについて

【内容】これまで必要の都度設置することとしていた予防接種健康被害調査委員会を、健康被害発生時に速やかに招集できるよう常設するとともに、従前の佐倉保健所が印旛保健所に名称変更されたことに伴い、保健所長を委員とする本条例において、所要の措置を講じようとするもの。

▼専決処分の承認を求めるについて
(成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて) 専決第3号)

【内容】地方税法が改正されたことに伴い、本条例の課税の特例の規定について、文言の整理をするもの。

▼成田市立加良部小学校増築工事(建築工事)請負契約の締結について

【内容】周辺宅地の開発による加良部小学校区内の児童数の増加に対応するため、校舎の増築を行うものとするもの。

▼(仮称)北羽鳥多目的広場整備工事請負契約の締結について

【内容】北羽鳥多目的広場用地に市民が気楽に楽しめるスポーツ、レクリエーション施設を整備しようとするもの。

建設水道常任委員会

▼成田市都市計画道路3・3・4郷部線新設工事に伴う成田線成田駅構内12K300m付近公道橋新設工事委託契約の締結について

【内容】郷部線のJR本線軌道下を横断する約112メートルの公道橋新設工事のうち、国庫補助金等が確定した平成16年度分のトンネル本体工事について、委託契約を締結しようとするもの。

【主な質疑】

問 事業費の総額はいくらか。
答 郷部線全体の事業費として、約148億円を予定している。

経済環境常任委員会

▼市有財産の取得について(いずみ聖地公園拡張整備事業用地)

【内容】今後の人口増等により増大することが予想される墓地需要に対応するとともに、騒音下の土地利用の推進

臨時市議会を開会

臨時市議会が6月30日に会期1日で開かれ、1議案が原案どおり可決されました。

《可決された議案の概要》

▶平成16年度千葉県成田市一般会計補正予算(第2号)

【内容】現在、久住第一小学校敷地内に併設している久住中学校について、その変則的な教育環境を一日も早く解消するため、久住駅前特定土地区画整理事業地内に建設することとし、平成18年度中の完成を目指そうとするもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,730万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ427億6,113万9千円とする。

を図るため、周辺景観と調和した良好な公園緑地機能を持つ墓園として、いずみ聖地公園を拡張整備するための用地を取得しようとするもの。

【主な質疑】

問 永代使用料はいくらになるか、斎場の改修予定は、地元の採用はあるか。
答 墓地1基当たりの永代使用料、それから管理料は、事業費のうち、墓地空間整備に要した費用等について、受益者負担の原則で算定されるが、また、事業費等の詳細が確定していないため、既存墓地と大きな違いがないよう検討していく。現在の管理事務所、斎場についてはまだ使える状況にあり、当面は現状で使用していきたい。また、管理については、公の施設の管理形態の全庁的検討により対応したい。

越川富治議員に 議長会表彰

《議員在職25年》



越川 富治 議員

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、越川富治議員が全国・関東・千葉県の各市議会議長会から表彰されました。

● 人事案件

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(細矢正雄) [同意]
 ▼教育委員会委員の同意を求めるについて(大須賀久大) [同意]

● 発議案(議員提出の議案)

▼容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書 [可決]
 ▼義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書 [可決]
 ▼地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書[可決]

● 請願・陳情の審査結果

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書 [採択]
 ▼地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書の提出に関する請願書 [趣旨採択]
 ▼自衛隊のイラク派兵を直ちに中止し、

新議長に加藤武夫議員就任

宇都宮議長、内山副議長の辞職に伴い、議長・副議長の選挙が6月23日に行われ、新議長に加藤武夫議員、新副議長に平良清忠議員が選出され、また、経済環境常任委員会、議会運営委員会の各委員の一部改選が行われ、新委員と委員長が決まりました。



平良清忠 副議長



加藤武夫 議長

正副議長の就任にあたって

この度、6月定例会におきまして、私どもは、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任することとなりましたことは、誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げます。同時に、その責務の重大さを痛感するものであります。

本年は、市制施行50周年という節目の年であり、また、現在進められている市町村合併協議につきましても非常に重要な時期にあります。

さらには、成田空港の完全化を初め、少子高齢化、高度情報化、環境保全等、今日的な課題にも対処していかねばならないと考えております。

議員一同手を携えて、市民の付託に応えるよう、誠心誠意努力いたす覚悟でございますので、何とぞ、市民の皆



谷平稔 委員長

谷平稔議員が経済環境常任委員長に

平良清忠経済環境常任委員長の辞職に伴い、選挙により新たに谷平稔議員が新委員長に就任されました。また、議会運営委員会の加藤武夫委員長、平良清忠委員の辞職に伴い、宇都宮高明議員、谷平稔議員が新たに議会運営委員に選任されました。

派兵計画の撤回を求める陳情書 [不採択]

特別委員会から

空港対策

特別委員会

執行部から共生財団事業における隣接区域(Aラン)の見直しについて報告がありました。

共生財団と協議した結果、本年度中にA滑走路の隣接区域の再度の見直し検討を行い、早ければ来年の4月からの実施を目的に調整作業を進めていきたいとのことでした。

次に航空機騒音評価調査研究について報告があり、暫定平行滑走路の供用開始に伴い、WECPNL値の騒音

測定をした結果、A滑走路と暫定滑走路、両方の騒音を計算した結果よりも、暫定滑走路の航空機の騒音だけで計算した値の方が大きくなる「逆転現象」が起き、平成15年度に等価騒音レベルについての調査研究を千葉工業大学に委託したとのことでした。

磯部、芦田ほか合計9地点で、調査を行い、うち7地点で逆転現象が起き、実際には、騒音暴露量が増えたにもかかわらずWECPNLが小さくなるという、矛盾した結果になりました。

WECPNLでは外国とのデータの比較や共有ができず、また国内においても航空機騒音以外の評価量と整合性が無いことから、早急に住民の感覚量、騒音の暴露量と乖離のない評価量に改定するよう、再度環境省に要望することとした。

続いて、成田国際空港株式会社から成田空港の現状と将来の課題について説明があり、2,500メートル平行滑走路の整備、空港使用料金の値下げ、完全民営化の実現、環境対策・共生策促進の4点を課題に挙げているとのことでした。

新駅・まちづくり

特別委員会

執行部から平成16年3月定例会市議会以降の動き、それから状況等について、概要の報告がありました。

成田新高速鉄道の平成16年度事業計画については、平成15年度までの基礎調査をもとに、工事施行認可申請図書の作成、高架橋構造物設計等の基本設計を実施し、測量関係については、用地取得のための準備測量に着手、また、環境影響評価については、希少鳥類の調査、準備書手続及び評価書の作成準備を行う予定とのことでした。

地元対応については、3月から4月にかけて松崎地区、押畑新地地区、北須賀地区、玉造地区の会合に出席し、事業計画及び現況について説明を行うとともに、地元の要望を伺い、事業者に検討を申し入れたとのことでした。主な意見・要望は、ルート・構造の早期提示、騒音振動、農地、営農及び周辺対策などがあり、騒音振動については、6月15日に北須賀地区の方々に「つく



▲つくばエクスプレスの騒音視察

ばエクスプレス」の試験運転の視察を実施したとのことでした。24日には八生地区の方々による視察が予定されており、それ以外の地区からも要望により対応することとした。

続いて新駅周辺の整備構想方針、駅前広場、アクセス道路の検討、整備方法事業化プログラム等をまとめた「平成15年度都市計画策定委託事業報告書」の説明があり、成田新高速鉄道及び北千葉道路が成田市にもたらす活力を積極的に活用するため、様々な視点から土地利用の検討、駅周辺のまちづくりの方向性を導き出す目的で調査を行ったとのことでした。

【主な質疑】
 問 成田空港と都心をつなぐという当初の目的達成のために、22年の開業をお願いする。
 答 新高速鉄道は、空港の完全化とともに絶対必要であり、首長の全体会議の中では新高速鉄道と北千葉道路を一体で考えている。

問 土屋駅を請願駅で進める具体的な考えは。
 答 まだ請願駅とかそういう段階まで至っていない。今回一定の条件のもとに駅設置に係る事業費を試算したが、関係機関と調整したものではありません。問 今後の土屋駅の見直しをつけていくべきでは。
 答 沿線の自治体間でそれぞれの問題意識に差があるが、成田市として2駅の設置はこれまでと変わらず普遍であると考えている。
 土屋駅については、成田の将来を考

えて不運転で取組んでいただきたいの要望がありました。

新清掃工場建設

特別委員会

執行部から小泉区との協議について報告があり、市有地がある小泉地先を建設予定地と考えるに至り、新清掃工場建設に係る基本的考えを提示し、地域の理解等を踏まえた施設の建設に向けた協議を3月25日から開始したとのことでした。

市の基本的な考え方として、①富里市との協同設置と予定をするも、成田市主体で管理するものであること、②規模は1日24トン程度と見込まれ、安全、安心、無公害に徹したものとする

こと、③小泉区の理解を深めるための先進地視察を実施すること、④新清掃工場計画とあわせて附帯施設等の検討を行うこと、⑤情報公開、住民参加を旨として、実現可能な計画とすること、この5点を基本として協議を進めたいとのことでした。

次に、市内プロジェクト班の設置については、成田市のプロジェクト班の設置規程に基づくもので、新清掃工場以外の余熱利用等の附帯施設、その他関連施設整備計画や周辺地域の土地利用、あるいは地域振興などについて、市民ニーズや地域の要望等を踏まえて、市内横断的に検討するため、関連する部局の職員8名により設置したものと報告がありました。

委員会終了後、茨城県龍ヶ崎市のごみ焼却施設及び附帯施設の視察を行いました。

【主な質疑】
 問 平成20年度中の供用開始に向けた富里市との協議時期はいつか。また、地域の活性化という観点から効率のいい余熱利用の施設を考えると、現在の候補地は狭くないか。
 答 成田市として施設の建設地を確定し、関連の全体計画の枠組みを固めることが最優先事項と考える。また候補地の面積が4ヘクタール以上あり、焼却施設及び附帯施設の建設は可能と考える。

一般質問から



寺宮ウチクドウ

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずねるものです。6月定例会市議会では8人の議員が質問に立ちました。議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

中学校の部活動・合併と 自立自治体について

伊藤竹夫 議員

問 中学校の部活動の現状と課題について伺います。

答 部活動は教育課程外の活動であり指導する教職員が、時間外の勤務で運営に携わっているという実態もありません。学校間交流推進事業により合同部活動の開設、中学生の文化部活動活性化事業、運動部活動外部指導者活用事業を実施し、部活動の活性化が図られるよう支援しているところです。生徒の多様な個性を引き出す一助となるよう、各中学校の部活動に対し、今後とも支援をしていき、また、もう一つの方法である地域スポーツの推進にも取り組んでいきたいと考えます。



▲吾妻中学校で

問 新市のまちづくり構想について伺います。

答 ①資源を生かし切れないまちづくりから脱皮して、幅広い意見の中から、資源を生かしていく方法を考えていくべきだと思いが、現時点のまちづくり案と今後のスケジュールは、②ホームページの活用方法について、魅力あるまちづくりを推進していくため、ホームページが重要な役割を占めるようになってきており、市から住民へという感覚でつくられているので、使いにくいと感じている住民も多いのだが、

問 市町村合併と自立自治体への展望について伺います。

答 合併の有無にかかわらず、今後ますます高度化・多様化する住民のニーズに適切に対処していくために、行政改革に取り組み、簡素で効率的・効果的な行政体制を確立したいと考えています。また、住民協働型の行政システムの形成による、市民が行政に参加できる仕組みづくりや、弾力的かつ効率的な組織づくりを進めるなど、行政基盤の強化を行い、さらに行政経費の削減等を行うことにより、各自自治体としての自立性を確保していきたいと考えます。

問 市町村合併と自立自治体への展望について伺います。

答 合併の有無にかかわらず、今後ますます高度化・多様化する住民のニーズに適切に対処していくために、行政改革に取り組み、簡素で効率的・効果的な行政体制を確立したいと考えています。また、住民協働型の行政システムの形成による、市民が行政に参加できる仕組みづくりや、弾力的かつ効率的な組織づくりを進めるなど、行政基盤の強化を行い、さらに行政経費の削減等を行うことにより、各自自治体としての自立性を確保していきたいと考えます。

教育・消防・危機管理と 農村部地域振興について

海保茂喜 議員

問 新しい成田の学校教育について3点お尋ねします。

答 ①企業とつくる授業の展開については、ゲストを招くといった発想ではなく、メディアを積極的に活用することで、子供たちが企業を身近に感じ、学習内容に興味を持ちやすくなると思われ、企業などを活用する有効性と今後の方向性についての見解は、

問 自治体行政の危機管理についてお尋ねします。

答 成田空港を抱える市として、多様化した危機に対する自治体組織、職員の危機管理能力の向上についての見解は、

問 農村部の地域振興の今後について2点お尋ねします。

答 ①隊員の救急資格者を消防車で出動させているところですが、今後も救急隊の遅延の際には、可能な限りその対応を図っていきたくと考えています。②災害現場でのストレスが職務遂行に影響を及ぼすことのないよう、鋭意努力してまいります。③市民ぐるみの救急対応力の向上を目指し、普及活動や救急講習を開催しており、今後も継続的に展開できるさまざまな方策の研究を重ね、市民の救命率の向上に努めたいと考えます。

問 介護保険制度について伺います。

答 ①成田市において軽度の要介護者の認定数はどのように変化しているか。②介護サービスにおいて高齢者の生活機能、身体機能の維持、改善についてどのような取り組みを行ってきたか。③高齢者の生活機能、身体機能の維持、改善についてどのような計画があるか。

問 成田市において学校施設のバリアフリー化の現状はどうなっているか。

健康で元気に暮らせる 介護予防サービスの創設

水上幸彦 議員

問 消防を支える体制づくりについて3点お尋ねします。

答 ①消防車の救急活動について、消防車では救急患者を搬送できない規制のなかで、救急隊員を乗せ救急現場へ消防車を出動させる体制を整えることについての見解は、

問 成田市において学校施設のバリアフリー化の現状はどうなっているか。

答 平成8年度から施行された千葉県福祉のまちづくり条例に基づき施設整備を進めており、これまでに7校が整備済みです。特に、障害者を持った児童生徒が入学する予定の学校については、入学前に障害の度合いに応じ、スロープ、トイレ、手すり等の改修工事をするよう努めています。本年度工事を予

問 市町村合併と自立自治体への展望について伺います。

答 合併の有無にかかわらず、今後ますます高度化・多様化する住民のニーズに適切に対処していくために、行政改革に取り組み、簡素で効率的・効果的な行政体制を確立したいと考えています。また、住民協働型の行政システムの形成による、市民が行政に参加できる仕組みづくりや、弾力的かつ効率的な組織づくりを進めるなど、行政基盤の強化を行い、さらに行政経費の削減等を行うことにより、各自自治体としての自立性を確保していきたいと考えます。

問 市町村合併と自立自治体への展望について伺います。

答 合併の有無にかかわらず、今後ますます高度化・多様化する住民のニーズに適切に対処していくために、行政改革に取り組み、簡素で効率的・効果的な行政体制を確立したいと考えています。また、住民協働型の行政システムの形成による、市民が行政に参加できる仕組みづくりや、弾力的かつ効率的な組織づくりを進めるなど、行政基盤の強化を行い、さらに行政経費の削減等を行うことにより、各自自治体としての自立性を確保していきたいと考えます。

定している平成小学校分離新設校の建設、並びに加良部小学校校舎の増築にあたり、国庫補助を得てエレベーターの設置を含むバリアフリー化を実施したいと考えています。

問 健全育成条例について伺います。

①本市として県の健全育成条例の中で設置者にどう指導してきたか。
②市独自の条例制定を含めてどう対処する考えか。

答 ①千葉県は、条例に基づく表示の有無等を把握するため、毎年、各市町村の協力のもと「青少年を取り巻く地域社会環境実態調査」を実施し、その調査結果報告に基づき千葉県環境生活部が実地に立ち入り調査を行い、不適切な箇所は是正を指導しています。成田市内の状況としては、引き続き千葉県や地域住民のみなさんと連携しながら設置状況等の把握に努め、問題がある場合には監督官庁である千葉県に対して、是正指導を要望するとともに、必要に応じて警察に対しても協力をお願いしたいと思います。

問 健康増進法で規定の喫煙に関する規制について伺います。

①健康増進法の施行から1年が経過し、喫煙に関する規制についてどう取り組んできたか。
②喫煙マナー向上対策はどうなっているか。受動喫煙・禁煙に対する対策はどう考えているか。

答 ①健康増進法が昨年5月に施行されたことを受け、保健福祉館において10月から館内を全面禁煙しています。また、市役所本庁舎の禁煙対策としては健康増進法に定められた受動喫煙防止の趣旨を踏まえ、8月を目前に本庁舎内を禁煙にすべく、現在準備を進めています。

②健康増進法第25条では、街路や広場は受動喫煙防止の対象外となっており、受動喫煙による健康への被害を予測させることから、今後喫煙マナーの向上や受動喫煙の防止については、健康教室を初めとして、さまざまな機会や場面でPRを行いたいと考えています。

ける小泉地区に新たなごみ焼却施設を建設することが有力になってきたが、成田市の取り組み姿勢は。
②場所の決定時期、供用開始はいつごろか。

答 ①昨年9月に表明させていただいた成田市建設方針のとおり、富里市との広域整備、成田市内に建設、市民・地域住民との意見を踏まえた余熱利用施設の建設、さらには情報公開、説明責任・住民参加という趣旨などに基づき進めることで、変更はありません。

②現在、小泉地区住民と協議中であり、地元合意に向けて最大限の努力をしているところだ。

問 入札制度改革について3点伺います。

①成田市はこの5年間、入札制度をどのように改革し、その効果は。
②地元業者が、これまでの学校建築を受注できなかった理由と、今後の新築工事に地元業者が中心になるには。

答 ①最低制限価格の設定の見直し、予定価格の事前公表、発注予定工事の公表、入札結果等の公表、さらには建設工事指名業者選定基準等の各種基準の公表などを実施し、結果として、適正価格での発注が確保され、工事担当課や担当職員の接触がなくなるなど透明性の確保がなされ、その成果はあつたものと思います。

②建設工事指名業者選定基準で、設計金額が4億円以上は、業者の等級がAAの業者を指名することになりましたが、残念ながらこのランクの市内業者はいません。したがって、技術力の向上を図ることを目的として、地元業者との共同企業体へ発注しています。

③丸投げ、いわゆる一括下請負につきましては、建設業法でこれを禁止しています。成田市でも、建設工事請負契約書の約款の中で、「一括委任または一括下請負の禁止」を明示しており、下請負人を使用する場合は、「下請負人の通知等」を提示するよう定め、丸投

ける小泉地区に新たなごみ焼却施設を建設することが有力になってきたが、成田市の取り組み姿勢は。
②場所の決定時期、供用開始はいつごろか。

問 市町村合併について。
①第3回合併協議会で多古町からの申し入れを報告しなかったのはなぜか。
②市4町首長会議確認事項に「合併協議の門戸を閉ざすものではない」とあるが、いつまでなら特例法の期限内の合併に間に合うのか。

③2市4町の合併問題について、いずれかの時点で区切りをつける必要があると思うが、市内の市町にいま一度働きかける考えはないか。
④神崎町、栄町など2市4町の枠外の町についての今後の対応はどうするか。

答 ①現在進めている合併協議会は、あくまでも成田市・下総町・大栄町の合併を協議する場であることから、これ以外の枠組みに関する報告はなじまないものと判断したものです。

②今後、新たな合併協議を開始した場合に、調整が円滑に進むか否かにかかっており、現時点では判断しかねます。③合併については、関係市町の自主的な判断を尊重すべきものと考えていますので、成田市からの働きかけは考えていません。

④国の三位一体改革による税源移譲等の推移を見極めながら、市議会のみならず十分協議・調整をさせていた

き続き先進自治体の活用事例などを参考に検討したいと考えています。

問 AED(自動対外式除細動器)の設置について。

①AEDの必要性をどう考えているか。
②救急講習会でAEDの取り扱い方を加え、普及に努める考えはないか。
③学校、競技場などの公共施設について、AEDの設置を早期に推進する考えはないか。

答 ①このAEDは、救命救急の観点から必要性は高いと考えますが、今後、厚生労働省において、関係省庁や都道府県に対して医療法の解釈の変更等を通知することですので、これらを確認したうえで調査・研究したいと思っています。

②消防機関が実施する講習会は、国の定めた指針に基づいて実施していますので、今後の動向を見極めていきたい

と考えます。
③今後、国、県の動向を踏まえ十分に協議していきたいと考えます。

問 ペット火葬施設の建替えについて。

①ペットに対する市の考え方は。
②第6次5か年計画のとおりペット火葬施設の建替え計画はあるか。

答 ①核家族化の進行や高齢世帯の増加の中で、ペットは人々の心をなごませ、家族の一員として日々の暮らしに潤いをもたらしてくれるものではないかと考えます。

②現在のペット火葬場は平成5年3月に設置されたもので、今次5か年計画において、その建替え計画を計上したところだ。大型事業の多い今次5か年計画にあつて、この建替え計画につ

成田空港の問題解決と新清掃工場の建設について

尾形英司 議員

問 成田空港問題解決と今後の見通しについて3点伺います。

①羽田の再拡張事業の影響と対策は。
②民営化後の地域共生のあり方は。
③2,500メートル滑走路実現に向け、北側延伸の働きかけを。

答 ①羽田再拡張に伴う国際線の受け入れは、滑走路を拡張した中で国内線を確保した残りの余裕枠を国際線の需要増に対して活用するものであり、あくまでも羽田は国内線の拠点空港であり、成田は国際線の拠点空港であるという原則は変わるものではなく、この原則のもとにそれぞれの役割を果たしていくものと考えています。

②空港公団の民営化にあたり、国、千葉県、空港圏自治体、当時の空港公団の4者により、「地域と空港との共生」を基本理念とした公団の民営化に関する覚書を締結しており、この中で環境

対策や共生策を確実に実施することが確約されています。今後とも国、県、空港会社と連携を密にし、その確実な実施に努めたいと考えています。

③北側再延伸問題に対しては、成田空港騒音対策地域連絡協議会、地元在住地区空港対策委員会から反対の申し入れがあり、さらに北側へ延伸することになれば、新たな騒音問題も発生し、特に滑走路北側地域住民の方々の理解を得ることが大変難しいものと考え、本来計画である平行滑走路の2,500メートル化の早期実現に向けて最大限の努力をしているところです。

問 新清掃工場建設について伺います。

①昨年の9月議会で新清掃工場建設方針が示され、平成20年度中の稼働が明らかになり、成田空港の騒音被害を受

AEDの設置について

大倉富重雄 議員

問 市町村合併について。
①第3回合併協議会で多古町からの申し入れを報告しなかったのはなぜか。
②市4町首長会議確認事項に「合併協議の門戸を閉ざすものではない」とあるが、いつまでなら特例法の期限内の合併に間に合うのか。

③2市4町の合併問題について、いずれかの時点で区切りをつける必要があると思うが、市内の市町にいま一度働きかける考えはないか。
④神崎町、栄町など2市4町の枠外の町についての今後の対応はどうするか。

答 ①現在進めている合併協議会は、あくまでも成田市・下総町・大栄町の合併を協議する場であることから、これ以外の枠組みに関する報告はなじまないものと判断したものです。

②今後、新たな合併協議を開始した場合に、調整が円滑に進むか否かにかかっており、現時点では判断しかねます。③合併については、関係市町の自主的な判断を尊重すべきものと考えていますので、成田市からの働きかけは考えていません。

④国の三位一体改革による税源移譲等の推移を見極めながら、市議会のみならず十分協議・調整をさせていた

き続き先進自治体の活用事例などを参考に検討したいと考えています。

問 AED(自動対外式除細動器)の設置について。

①AEDの必要性をどう考えているか。
②救急講習会でAEDの取り扱い方を加え、普及に努める考えはないか。
③学校、競技場などの公共施設について、AEDの設置を早期に推進する考えはないか。

答 ①このAEDは、救命救急の観点から必要性は高いと考えますが、今後、厚生労働省において、関係省庁や都道府県に対して医療法の解釈の変更等を通知することですので、これらを確認したうえで調査・研究したいと思っています。

②消防機関が実施する講習会は、国の定めた指針に基づいて実施していますので、今後の動向を見極めていきたい

ペットの健康問題について

村嶋照等 議員

問 成田市では広報等で定期的にペットのコーナーに飼育方法についての指導、アドバイスや狂犬病の予防注射の案内をしているが、いつも内容は変わらない。狂犬病の予防は大事だが、市内で感染例の多いフィラリアについて対策等、もう少し幅を広げて取り組めないか。

答 ペットの所有者は、「動物の愛護及び管理に関する法律」により、その動物に起因する感染症の疾病について正しい知識を持つよう努めなければならぬ責務を有しています。したがって、ペットの健康や疾病について、まずは飼い主が日ごろから世話をよくし、体調の変化に気づくことで早期発見することが肝要ではないかと思えます。しかしながら、個人が専門的な知識を得ることはなかなか困難なことも

あり、こうしたことから市では動物愛護及び適正な飼育の普及・啓発を図るため、千葉県及び地元の獣医師会と連携しながら、広報なりた等を通じて定期的に啓発に努めているところです。

ペットの健康管理や疾病という点については、千葉県動物愛護センターが定期的に開催する「犬のしつけ方教室」や財団法人千葉県動物保護管理協会が実施している「動物のしつけ方や飼育・管理の方法」などの電話相談について、年5回広報に掲載し、周知しているところだ。



特別支援教育について

足立満智子 議員

問 千葉県でも昨年4月から「特殊教育から特別支援教育へ」に向けた取り組みが始まりました。その中で注目されているLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への特別支援教育に関して。

①成田市における取り組みの状況は。
②客観的な診断方法はないといわれるADHDなどを「障害」あるいは「病気」とする判断基準は。

③「就学時健康診断」はどのような役割を果たしていくのか。
④国も県もADHDに対し、子供の依存症や副作用で米国でも問題になっている中枢神経刺激剤リタリンなどの投与を薦めているが、成田市の見解は。

答 ①LD、ADHD、高機能自閉症等の傾向があると学校が判断し、その対応に苦慮している場合には、担当の指導主事や学校適応専門指導員が児童生徒の実態に即した具体的な支援のあり方や校内支援体制づくりなどについて指導・助言を行っています。
 ②県教育委員会が発行した「特別な教育的支援を必要とする子どものためのQ&A」や県総合教育センターが作成した行動チェックリスト等を参考にしながら、児童生徒の状況の把握に努めています。
 ③知的機能の遅れなどの可能性がある幼児を発見し、その後の就学相談や医療機関などにつなげることを目的としています。また、限られた短時間の面接の中でLD等を発見することは困難であるとされています。
 ④ADHDと診断を受けた児童生徒が、保護者の同意のもと、治療のために薬を服用することについては、教育委員会として見解を申し上げる立場にないものと考えます。

問 6月議会に提案されている契約案件のうち2件について談合情報が流れた。後をたたない談合、丸投げ情報に

対し、成田市の対策に問題はないか。

答 談合情報が寄せられた場合、「不正行為等の通報があった場合の処理方針」に基づき、談合情報調査委員会での情報が調査に値すると判断した場合は、業者から事情聴取を行い、そこで談合の事実を確認したときは、入札執行を取りやめ、指名の取り消しや指名停止等の措置を行い、さらには公正取引委員会へ通報します。

問 市町村合併についてお尋ねします。

①2市4町の首長会議確認事項の合意文書を交わした多古町への対応、さらに現在合併を要請してきている自治体に対する市長の見解は。
②成田市民は、まちな主権者として、みずから主体的にまちづくりの視点で合併を考え、意思を明らかにする機会をいまだ得ていない。合併協議のプロセスに対する市民の意向などをどのように把握するのか。

答 ①多古町への対応については、今後、市議会のみならずと協議・調整をさせていただきたいと考えています。また、神崎町と栄町については、国の三位一体改革による税源移譲等の推移を見極めながら考えたいと思います。
 ②合併協議会事務局で策定中の新市建設計画の基本構想について、合併協議



▲第5回1市2町合併協議会

会において承認され次第、住民説明会での意見聴取やパブリックコメントの手法を導入して、住民の意見を把握し、この意見を新市建設計画の基本計画策定に生かしたいと考え、また、合併協議の最終段階で事務事業の調整が終了し、新市建設計画の基本計画がまとまった時点で、再度、同様の住民説明会等を行い、民意の把握に努めていきたいと考えています。

問 井上有事担当大臣は、「米軍・自衛隊による成田空港の軍事利用もありうる」という認識を示したといわれる。これまでの政府答弁の転換をどう認識しているか。

答 成田空港を含めた特定公共施設を軍事利用するという事態というものは、現段階においては我が国に対する武力攻撃を前提としており、我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するために、施設の利用が必要不可欠と判断されたような場合に限定されているものと考えられます。成田市は世界連邦平和都市宣言、非核平和都市宣言をし、市民憲章にも「親切な心で平和な成田をつくりましょう」という平和の意思をはっきりと表明しています。市民の生命、財産を守る自治体の長として、市民の平和を脅かす事態に陥ることがないように、可能な限り努めていきます。

米作りを守る政策とデマンド方式のタクシーを

馬込勝末 議員

問 ①「国際コメ年」の呼びかけについて、成田市の考えは。
 ②「地域水田農業ビジョン」で目指す本来あるべき姿とは。
 ③3ヘクタール以上の水田農家を担い手としているが、高槻市のように、すべてに支援をすべきでは。
 ④学校給食に地元農産物の利用をもっと増やすべきではないか。

答 ①米は我が国にとっても重要な主食であるほか、水田農業を通して多面的機能の発揮等、さまざまな面で重要な役割を果たしており、成田市としても、国の「米政策改革大綱」に基づく施策について推進し、支援していきたいと考えています。
 ②米づくりの担い手として、安定した経営基盤を持つ稲作農家を育成し、産業として成り立つ水田農業の実現を目指すものとしています。
 ③集落の合意が得られれば、稲作農家全員が担い手になることも可能です。市としては、「米政策改革大綱」が目指す理念に基づき、「地域水田農業ビジョン」の実現に向けて支援していきたいと思えます。
 ④主食である米飯については、すべて成田産米を使用し、また地場産野菜については、ジャガイモ、ニンジン、大

会において承認され次第、住民説明会での意見聴取やパブリックコメントの手法を導入して、住民の意見を把握し、この意見を新市建設計画の基本計画策定に生かしたいと考え、また、合併協議の最終段階で事務事業の調整が終了し、新市建設計画の基本計画がまとまった時点で、再度、同様の住民説明会等を行い、民意の把握に努めていきたいと考えています。

問 市町村合併について質問します。
 ①サービスは高い方に負担は低い方に合わせるという約束を守るべき。
 ②四街道市で5月に住民投票が行われ、反対が多数を占め法定協の解散となった。成田市の場合、アンケートで合併に対して慎重・反対が多数を占め、市民団体が5月に駅前で行った模擬投票でも、1市2町に対して6割が反対であり、市民の意思を問う住民投票を行うべきでは。

答 ①原則として成田市の制度に統一することを基本とし、下総町、大栄町に制度があつて成田市に該当する制度がない場合については、住民サービスとの低下を招かないよう個別に協議し、

問 ①循環バスの運行具休化を。
 ②福祉協議会の移送サービスや障害者の福祉タクシーなどの制度が既にあり、それぞれ大きな役割を果たしているが、交通弱者あるいは交通不便者全体をカバーするものにはなっていない。そこで、利用者の要請に応じてタクシーを運行するデマンド方式のタクシー運行を検討してはどうか。

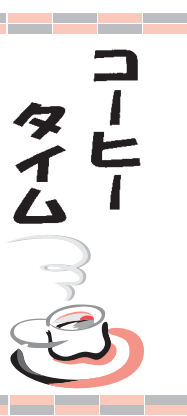
答 ①循環バスの運行については、引き続き課題の整理等に取り組んでいるところです。
 ②いわゆる交通弱者といわれる市民が利用しやすい方法については、自治会

必要性や財政状況等を総合的に判断し、検討していくこととしています。
 ②合併協議会において事務事業の調整や新市建設計画の策定を行い、その後、住民説明会の開催やパブリックコメントなどを通して、市民の意向集約に努めていきます。
 ③合併については関係市町の自主的な判断を尊重すべきものと考えています。
 ④設置の有無については、今後、合併協議会の場で協議されます。

成田市のホームページは、成田市のホームページからどうぞ！
<http://www.city.narita.chiba.jp/>

問 住宅改修制度について。
 全国で住宅改修の助成制度が広がっているが、地元零細建設業者や大工さんの仕事を確保することで、地域経済の活性化につながるこの制度について実施してはどうか。

答 一般住宅の改修助成制度については、住宅のリフォームが促進され、経済活性化の政策選択手段の一つと思われませんが、住宅は個人の資産であり、公費で助成することは慎重に検討すべき課題と考えます。



梅雨の晴れ間のひと時。カルガモの母親が農業用水路の上でグアグアと高鳴きして水路の中を見えています。覗いてびっくり、かわいいカルガモの仔が十羽、右往左往していました。
 一メートルもの壁、水路から羽根の無い仔鴨は飛び上がれません。何故ここで子育てを…。これも自然環境を壊した人間社会の罪かと反省してしまいました。
 何とか安全なところへと思ひ、市役所に連絡すると網を持って来てくれるとの事、見かねて、近くの小川さん

問 9月定例市議会は、9月3日(金)開会予定です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 「成田市議会だより」についての
 お問い合わせは、市議会事務局へ
 ☎(20) 1570直通
 ファックス(24) 0336